



# 相互扶助の精神で 両市民の生命・財産を守る

## 姉妹都市 長岡京市と災害時等の相互応援協定締結

協定書に署名する両市長

市は、姉妹都市の京都府長岡京市と災害時等の相互支援体制を確立する協定を結び、一月二十九日にあやめ会館で締結式を行いました。地震などの大規模災害時に、復旧に必要な資機材や生活物資を提供することや、職員を派遣することなどを約束しました。

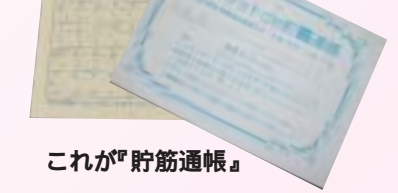
望月市長は、近年は温暖化による局地的豪雨などばかりでなく、テロの恐れもある。相互扶助の精神は大変重要」と述べました。小田市長は、今後は意見交換や研修を相互に行い、平常時から市民同士の関係を深めることで、災害時にスムーズな応援が可能となる」と話し、これまで両市が培った友好関係が重要であることを強調しました。

# PHOTOぎやらり~

市では介護予防教室や体操教室などの介護予防事業を展開しています。しかし参加者は元気な人が多く、もつと介護予防が必要な人は家に閉じこもりがみでした。そのため、下駄履きで行ける地域の公民館などを使用し、「いきいきサロン」を支援してきました。三年前には九地区で開催されていたサロンが、今では十八地区でボランティアを中心に運営されています。今年度は高齢者に運動習慣を身につけてもらおうと、「貯筋通帳」を使った事業を、国保連合会の支援を受けて推進してきました。

# 『いきいきサロン』が来年度には20地区に！

## 『貯筋通帳』ポイント達成者を『お出かけサロン講座』に招待



これが『貯筋通帳』



「1,000人がスクワットをする姿を想像してみよう。元気な市になるはず」と介護予防の重要性を説く寺院院長(右)

てもらうことが目的でした。朝晩のスクワットで自分の用が足せる身体を維持できますよ。今日は運動習慣が身についたことを皆さんでお祝いしましょう」と、参加者の日ごろの努力をたたえました。

安全、安心、健康のまちづくり事業の一環として栽培した機能性の高い野菜を使った昼食の後、温泉に入ったり個別にスクワット指導を受けたり、ストレッチ体操を行い、参加者は達成の喜びを分かち合いました。

# 完全生音で届けた音色 宗次郎クラシカル・アンサンブル



数種類のオカリナを使い分け、その音色で観客を魅了した宗次郎さん

二月十日、オカリナ奏者宗次郎さんのコンサート「宗次郎クラシカル・アンサンブル」オカリナ・エチュード」を葦山時代劇場で開催しました。

このコンサートは音響機材は一切使用せず、本来のオカリナの音色を楽しんでもらえるように完全生音で演奏が行われました。会場には約四百人が来場し、オカリナの澄みとおる音色に癒されていました。

# イチゴに白味噌を混ぜる などアイデア満載 パン祖のパン祭 今年で2回目



『タイルパン、文字パン、飾りパン』の3種を60\*グラム以上焼いて使用

日本のパン製造の開祖とされる葦山代官江川坦庵公にちなんだイベント「第二回パン祖のパン祭」を、二月二日、三日にアクシスカつらぎで開催しました。

昨年反射炉のパンオブジェを作った田方農業高校生徒は、今年は巨大な坦庵公のオブジェを三カ月かけて製作。入口正面に据えられた巨大な坦庵公が、来場者を鋭い眼光で迎えました。

藤田弓子さんと劇団「いず夢」のバラエティーショーや、藤田弓子さんと杉山実行委員



好きな形にパンを成形し、焼き上がり待った『親子パン作り教室』

イチゴ入りカスタードクリームで作った大福をパン生地で包んだ作品『もちほっぺ』をアピールする高橋さん



長、安田観光協会長とのトークショー、全国有名パンや近隣のパンを一堂に集めた販売会などを行いました。販売会では、有名なパンを求めて多くの人が列を作りました。

『全国高校生パンコンテスト』では、百人の応募者の中から書類審査で本選に出場した二十人が、一日がかりで実技を終え、三日はプレゼンテーションと審査、表彰を行いました。

『紅ほっぺ』をテーマとしたコンテストも二回目ということもあり、昨年を上回るハイレベル。イチゴを上に乗せてデザート風に仕上げたものや、ドライイチゴにして生地に練り込んだものなど、各自作品の特徴やアイデアを身振り手振りで説明し、来場者を引き込みました。名称や見栄え、味、食感、商品化、プレゼンの六項目を審査した結果、長野県下高井農林高三年の高橋加奈絵さんが優勝しました。

またパン祭に合わせて姉妹都市の長岡京市民団が市内を訪れ、パン祭を見学したほか、市友好都市交流協会と交流会も行いました。



反射炉で歴史ガイドの説明を受ける長岡京市民団